青少年相談センターだより

富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町１番１号　富士市教育プラザ内
電話＜０５４５＞５２－４１５２
FAX ＜０５４５＞５２－３７３７

令和３年度　第４号

「富士市青少年指導委員会の女性班について」

富士市青少年指導委員会　副会長　加藤　昌美（女性第二班）

今まで当たり前のように過ごしてきた学校生活、家庭、仕事などの日常は一変し、コロナウィルスとの共存を模索中です。

私たちが所属し、青少年補導に取り組む「富士市青少年指導委員会」もまた、今、変革を求められ、右往左往しているところです。

そのような富士市青少年指導委員会ですが、未だにどのような団体なのかをご存じない方も多く、非常に寂しいと思い筆を執りました。

当会は、歴代の諸先輩方が育て築き上げて下さったもので、54 年という永い歴史を誇ります。昭和 41 年に二市一町が合併して新たな富士市が誕生、二市一町のそれぞれの補導員も、翌年の「富士市青少年補導センター」設置と同時に富士市教育委員会が委嘱する補導委員となりました。その後、昭和 59 年に「富士市青少年補導センター」は「富士市青少年相談所」に、補導員も「富士市青少年指導委員」に改称し、現在まで、青少年の非行防止の活動を行っております。

（「富士市青少年相談所」は平成 27 年に現在の「富士市青少年相談センター」へ改称）

現在の青少年指導委員は、令和２年度、各地区のまちづくり協議会や生涯学習推進会より推薦され、現在、男女 136 名おり、青少年非行防止の為に尽力しています。

「えっ女性の指導委員もいたの？」と驚かれる方もいらっしゃったことでしょう。

各地区で夜間の補導活動を行う地区班に対し、25 名の女性指導委員は地区の枠を超えて４つの班を編成し、主に日中、補導活動を行っています。

その内容はというと、月２回、土曜日の昼間のゲームセンターや公園、大型店舗を巡回する補導活動、吉原祇園祭等のお祭り会場周辺の祭典補導です。また、年数回ではありますが、夜間の補導活動にも参加し、住んでいる地区での活動や情報交換等、他の団体との交流にも努めています。

大半の女性指導委員は、自分の子育てにひと段落つき、地区の青少年のためにと、女性指導委員となり活動に身を投じているのですが、10 年以上（中には 27 年）続けている者、健康面の不安と活動に対する責任に挟まれて退任と世代交代を希望する者も増えており、女性班は存続の危機に面しているのが現状です。

いろんな場所で多くの子ども達や家族連れに出会いますが、その周りには不審者はいないか、近くに保護者がいるかなど、心配し注意しながら活動します。

そんな活動の中、出会い、声を掛けた子どもたちが、遊びの手を止めて、『こんにちは』と笑顔で答えてくれると、少しほっこりとします。

私たち女性班のこれらの活動は、子どもたちを犯罪から守る抑止力として大変意義ある活動であり、これからも続け、繋げていきたい、女性が参加しやすい環境にしていきたいと考えます。

不審者出没の情報も頻発するこんな今だからこそ、子どもたちとの距離が一番近い年代、若い世代の保護者の方に、女性班に参加していただきたいのです。

保護者の皆さん、外での子どもの様子を一緒に見守っていきませんか？

最近の子供たち

青葉台班　丸山　寿生

私たちの幼少期や、ひと昔前までは時間が経つのも忘れて、広場や空き地で仲間とサッカーや野球をしていたものです。当時は社会的意識も高く、年代を超えた交流や繋がりがありました。そのような仲間との遊びやふれあいの中から喜び、成功、失敗が原動力となって、からだ、精神、社会性が育まれていきました。

学校の先生も責任を持って、子供に厳しく規律やモラルを指導する環境がありました。地域では近所のおせっかいおばさん、かみなりおじさんによく怒鳴られたものでした。家庭内でも沢山の兄弟の中でもまれて一家だんらんの食事の機会を通じて、家庭内でも日常的に競争や協調が養われていきました。

連絡手段がないために、仲間を求めて外を出歩き、仲間を作り増やしていきました。

環境に目を移すと、大きな空き地や広場や公園も、サッカーやキャッチボール遊び、自転車の乗り入れなどの禁止事項が増え、できる運動や遊びは限られています。好きな遊びがしづらいこともあります。もちろん、危険を考えれば仕方のないことではあります。

私たちを含めた社会、周りの大人たちもまた、著しく変化してしまいました。ルールを守れない子供たちを注意したり、叱ったりする人が特別視され、他人の子供に無関心な大人が増えてきました。規律やモラルを指導する場でもあった学校の先生も厳しく接することが難しくなりました。少子化によって兄弟が少なく、家族間での会話も少なくなりました。

そして、主人公である子供たちの行動です。携帯電話が普及して連絡もすぐにできるため出歩く必要がありませんし、テレビ、ビデオ、コンピュータゲーム等、過ごすための道具は豊富な時代となりました。子供たちの間では、室内でかつ少人数で同性、同年齢での遊びが流行しているようです。リセットして何度も繰り返すことのできるゲームには悔しさや痛みを感じる場面がありません。遊び過ぎを防ぐために、時間や内容も大人がコントロールしなければなりません。自由な遊びの延長であったはずのスポーツも、クラブでプログラム化されたスポーツに変わってきました。

一方、塾や習い事で忙しい子供が増え、昔に比べて放課後や休日に子供が外で仲間と群れて自由に遊ぶような姿はほとんど見られなくなってきています。そこに、新型コロナウイルスの流行が拍車をかけ、外で遊ぶ機会はさらに減少しました。

私たち青少年指導委員の補導活動も、これらの大きな変化に応じる時が来たのだと思います。子供たちに会わないのであれば、会える時間帯に巡回補導を行う等。「市民安全課」発信の不審者出没情報では子供たちの登下校時に多く発生しているように思います。子供たちの安全を考えると、思い切って、防犯を兼ねて巡回補導時間を変更する必要があるのでは、と考えてしまうのです。

居 場 所 作 り

青少年相談員　関　美千代

昨年秋の新聞で、静岡県の不登校児童生徒は過去最多となり、公立小中学校で6,377人いるとの調査結果が発表されました。不登校者数が増加する背景として、人間関係のトラブル、家庭の事情、思春期を迎えての心の乱れ、生活リズムの乱れ等様々な要因があると考えられます。

また、約２年も続くコロナ渦の影響も大きな要因の一つだと思われます。このように背景が多様化、複雑化している今、学校へ行きづらさを感じている子どもたちの居場所をどのようにつくり、どのように受け入れていけばよいのでしょうか。

子どもたち一人一人、不登校の要因は違います。そのため、個々に応じた手厚い対応が大切だと思います。子どもたち自身が否定されず、温かく迎えられる場所があることが必要であると考えます。その一つとして「ステップスクール・ふじ」は、子どもたちが安心できる居場所として受け入れを行っています。1月18日現在で７５人の利用生がいます。ここでは居場所の一つとして、学習活動、体験活動等を通し利用生を支援し、社会的な自立を目指しています。

学習活動では、自主的な学びを大切にし、学習習慣を身に付ける支援を行っています。体験活動では、カレー作り、お菓子作り、リース作り、こどもの国での体験等を実施しています。

参加の有無は利用生の気持ちを尊重し自由参加としています。この体験活動に参加したことにより、他の利用生との関りが出来ます。硬かった表情から笑顔を少し見せてくれるようになります。このようなちょっとした体験から自己肯定感は生まれるものではないかと考えます。

しかし､自分の気持ちや､考えを上手く伝えることが出来ない子どもたちは多くいます。

「ステップスクール・ふじ」という居場所に来られない子どももいます。私たちは、この一つの居場所を少しでも多くの人たちに知ってもらい、利用してもらい、子ども一人一人に寄り添った支援を続けていきたいと思っています。

学校に行きたくてもいろいろな理由で行くことが出来ない子どもたちのために、学校以外の居場所づくりをして、学校以外の場所でも同世代と新たな関りをもつことで、生きる力に繋がっていくことができればと願っています。

参考文献　静岡新聞２０２１/１０/１４付

☆☆☆ 電話相談集計 ☆☆☆

☆☆☆☆ 補導状況集計 ☆☆☆☆

街頭補導日誌（要約）　令和３年11月～４年１月

元吉原班	11月25日(木)	東田子の浦駅、駐輪場を見回り、のぼり旗が破れていたため、関係者に連絡した。吉原駅北口・南口、及び地下道、その後、鈴川港公園、鈴川海浜スポーツ公園の見回りを行ったが、特に問題はなかった。
浮島班	１月13日(木)	浮島まちづくりセンターに集合。情報交換後、ファミリーマート、緑地公園を巡回しました。特に異常はありませんでした。 冬本番の寒い日でした。
須津班	12月９日(木)	脇道で、男子高校生２名が自転車並走で帰宅中、対向車と鉢合わせ、慌てて一列になるのを見かけたので、規則を守るよう指導。自転車もｵｰﾄﾊﾞｲも歩行者が少ない時間帯の脇道では我々を迷惑と思っている様子。
吉永第一班	12月17日(金)	東中・吉永一小先生方と情報交換、特に表立った問題なし。ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末でｾｷｭﾘﾃｨ突破の試みをする子もいる。ネット上で知り合った顔の見えない相手を信じてしまう子もいて、相談中とのこと。
吉永北班	１月11日(火)	まちづくりセンターに集合し、ロビーにて意見交換後、青パトにて吉永北地区内のパトロールを行いました。スマホにてポケモンＧＯを楽しんでいた主婦に声掛けをした。
原田班	12月９日(木)	まちセン小会議室で小中学校の先生方と情報交換。本年度は行事をまともに行えない、分散登校の様子などの話。端末導入で学習の遅れはないが、ゲームに費やす時間は増大。細かないじめを拾い上げているとのこと。
富士見台班	12月17日(金)	県下一斉補導ということで、20人参集、４つの班に分かれて町内を巡回した。富士見台小・吉原北中と情報交換したが、学校では問題なく過ごしているとのことだった。
神戸班	11月12日(金)	学校帰りの高校生３名ほどと、ウォーキングの大人２名に会うのみだった。よく路上に駐車中だった白い車は見なかった。
青葉台班	１月13日(木)	小学校との情報交換。特に問題ないが、登下校時の交通マナーが悪いとのこと。その後、新東名トンネル、公園、広場、コンビニを巡回、ふれあい広場ではゴミが散乱。コンビニ前で男子高校生に声掛けを行った。
今泉班	12月７日(火)	今泉地区全般をパトロール。まちセンから北へ十王子神社、吉原二中北側通り、ﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭｰ今泉店へ、南下してツタヤ、ﾌﾞｯｸｵﾌを通り依田橋町、国一ﾊﾞｲﾊﾟｽ高架下、北上して今泉小北、根方街道を巡視。特に異常なし。
吉原班	12月17日(金)	県内一斉補導、巡回ではほとんど青少年は見かけず無灯火自転車２・３人の一般人のみ。〈情報交換〉登下校時に信号待ちできない子や通学路を外れる子(吉原小)、伝法地区で男子生徒が腕をつかまれる事案(吉原一中)あり。
伝法班	12月９日(木)	伝法交番に情報収集に行った。今日、中学生が不審者に腕をつかまれ逃げたとの情報があった。現場を巡回したが、特に問題はなかった。
広見班	11月18日(木)	広見まちセンに集合、まちセンは夜間使用解禁、会合等人が多く集まっているので早めにパトロールへ出発。急に冷え込んできたためか人通りが極端に少ない。公園等は人影なし。まちセンと広見小体育館は夜間活動が活発。
大淵班	１月26日(水)	交番に集合、情報交換。地域の状況も穏やかな様子。子供達も元気に登下校。巡回についても相変わらずといったところ。オミクロンの勢いが増しているが、地区内３校に感染者は出ておらず、このまま年度末までと願う。
丘班	12月17日(金)	丘小の先生が参加してくれ、小学校の様子を聞くことができた。特に問題はなし。パトロールでも、特別なことはなく、無事に今年も終わりそうだ。
鷹岡班	11月25日(木)	鷹岡まちづくりセンターから富士西公園、鷹岡市民プラザを回り、水道山公園、ＳＬ入山瀬公園を巡視する。異常はなかった。
天間班	１月27日(木)	情報交換後、天間幼稚園、川坂区児童公園、富士根駅地下道及び駅周辺、天間小、天間保育園、東区児童公園、富士西公園、北１区児童公園、天満宮境内を巡回。青パトは地区全体を巡回。問題なし。
岩松班	11月11日(木)	水神社、富士川橋下を巡回。夜釣りをしている人たちに遭遇。富士川での釣りは禁止であることを説明して帰ってもらった。富士川橋下にゴミが多いことにあきれたが、釣り糸もかなり散乱していた。

岩松北班	12月15日(水)	岩松北地区は17日の県内一斉補導は行わないため、指導委員のみで補導巡回を行う。情報交換後、車にて滝戸公園等を含む地区全体を巡回。四ッ家公園で修学旅行の土産を交換するために集まった高校生４名、早い帰宅を促した。
富士第一班	11月18日(木)	まちづくりセンターに集合し情報交換。富士本町から富士駅方面に巡回、新型コロナ感染が落ち着いているからか、営業中の飲食店、居酒屋は多いが、客の姿は残念ながらまばら、賑わい・通行人も少なく問題なし。
富士北班	１月13日(木)	まちづくりセンター、中央小、米之宮神社、遊歩道、及び各周辺を巡回、人と会うこともなく異常なし。 ドン・キホーテ、駐車場周辺を巡回、異常なし。
富士駅南班	12月17日(金)	県内一斉補導、班長開会宣言、まちづくり協議会長、校長・教頭先生、各団体から一言、注意事項説明。２班編成で駅南第一・第二公園、駅周辺を巡回した。高校生ｶｯﾌﾟﾙに声掛け、無灯火自転車に注意を行った。
富士南班	12月17日(金)	県内一斉補導、コロナ感染防止のため補導員のみで実施。18：30頃より小･中学校先生との情報交換を行い、その後、徒歩にて小･中学校周辺、コンビニ、公園、神社等を巡回、特に問題はなかった。
田子浦班	11月18日(木)	まちｾﾝに集合し情報交換、青少年の問題行動の報告はなし。その後巡回、異常なし。11月26日開会予定の「不登校を考える保護者の会」町内回覧に関し、孫の不登校に悩む祖母からの連絡があり、11月19日急遽面談を決定。
松野班	１月７日(金)	年明け初めての巡回は、曜日、時間が同じで出会う人も限られるいつものコースを逆に巡回。何か起こることを期待するのではないが、寒空の下、人は少なく異常なし。喜ばしいことだが、ﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝの維持が辛い。
女性第一班	１月15日(土)	中央公園周辺を回る。天気が良く、親子連れが多かった。ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ効果なのか、ｽｹﾎﾞｰで遊ぶ小学生から青年たちが以前より増えていた。ｻｰﾄﾞﾌﾟﾗﾈｯﾄとｶﾗｵｹ間の駐車場はほぼ満車。ｺﾛﾅ患者増加の中、室内での遊びが心配。
女性第二班	11月20日(土)	ﾗｳﾝﾄﾞﾜﾝ富士店では２Ｆゲームフロアで子供が一人でいたため、大人と来ているか、遠く離れずに遊ぶよう声掛け。１Ｆｸﾚｰﾝｹﾞｰﾑﾌﾛｱはそれほど混んでおらず、幼児以上の子供はﾏｽｸを付け、保護者と一緒。鑑定団も異常なし。
女性第三班	11月６日(土)	富士西公園、鷹岡ﾌﾟﾗｻﾞ、鷹岡中周辺を巡回。子供たちは公園広場はいつもより少なかったが、ｱｽﾚﾁｯｸ広場は大勢が楽しそうに遊んでいた。ﾌﾟﾗｻﾞ富士文庫ではお話の会が行われていた。この賑やかさが続くといいと思う。
女性第四班	12月４日(土)	ﾒｶﾞﾄﾞﾝｷﾎｰﾃ富士中央店に集合、潤井川土手からﾎﾋﾞｮﾝへは横断歩道がなく交通量も多いため危険に思えた。ﾎﾋﾞｮﾝはﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄを求める家族連れで賑わっていたが店内の見通しも良好。ﾒｶﾞﾄﾞﾝｷも混雑。親の注意が必要に思う。
学校サポート	期間中	学校と連携し、中学校の校内巡回や学校周辺の見守りを行う。また、生徒に対する対応や情報交換等の学校サポート活動を行った。

※１月27日以降はまん延防止等重点措置適用のため、富士市青少年指導委員会の各班は補導活動を休止した。

３月～５月の行事予定

※新型コロナウィルス感染拡大や気象(荒天)、災害の状況等により、変更（中止や延期等）となることがあります。

3月	1（火） 臨床心理士来所相談	4月	4（月） 補導措置会議・部会	5月	2（月） 補導措置会議
	7（月） 補導措置会議		7（木） 青少年指導委員会総会 準備会		10(火) 不登校対策連絡会
	8（火） 不登校対策連絡会		8（金） ステップスクール　面談開始		13(金) 大型店舗特別補導
	9（水） 体験学習（お別れ遠足）		9（土） 家族会		14(土) 家族会
	11(金) 体験学習（お別れ遠足）予備日		フォローアップミーティング		フォローアップミーティング
	12(土) 家族会		11(月) ステップスクール・ふじ　開始		20(金) 青少年対策連絡会
	フォローアップミーティング		15(金) 青少年対策連絡会		27(金) 保護者教室
	15(火) 臨床心理士来所相談		25(月) 富士市青少年指導委員会総会		
	16(水) ステップスクール・ふじ　終了				
	18(金) 青少年対策連絡会				
	25(金) 臨床心理士来所相談				

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

１　相談事業

面接相談

○ 学校生活や進路に関すること
○ 不登校に関すること
○ いじめや友人関係に関すること
○ 養育や生活態度・性格に関すること
○ 非行や性の悩みに関すること
○ その他青少年に関すること

【受付時間】９：００～１６：３０
（土日祝・年末年始を除く）

事前に相談センターに申し込んでください。

電話相談

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、青少年に関する電話相談やメール相談

「ほっとテレフォン・ふじ」
９：００～１６：００（土日祝・年末年始を除く）
電話　0545(51)3741　またはメールで
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

「ステップスクール・ふじ」

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指します。

【利用時間】８：００～１８：００

○ 自律性と社会性を育てるために
・創作活動　　・自主学習　　など
○ 人間性を育てるために
・ゲーム　・スポーツ　・調理実習など

臨床心理士来所相談

月２～３回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。

予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

保護者教室

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者さんが集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。不登校の家族の会の方の経験談も聞くことができます。

日程につきましては、青少年相談センターまでお問合せください。

２　青少年非行防止事業

○ 青少年指導委員会
○ 青少年健全育成活動
○ 環境浄化活動

３　子ども・若者育成支援事業

富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」

概ね中学校卒業から３９歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。

【受付時間】９：００～１７：００（火～土曜日）
（祝日・年末年始を除く）

住所　富士市八代町１番１号
　　富士市教育プラザ内
電話　0545(55)0562
e-mail : f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所　富士市八代町１番１号
　　富士市教育プラザ内
電話　0545(52)4152
FAX　0545(52)3737
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

●富士警察署北側
●岳南電車ジャトコ前駅より徒歩２分